

第7回 全国建築士フォーラム in 大分 開催報告

開催日時：平成 28 年 10 月 21 日 16:30～22:00

開催会場：別府国際コンベンションセンター

B1 階 リハーサル室

2 階 レセプションホール

3 階 国際会議室

『魅力ある未来社会へ』

～行動しなければ何も変わらない～

全国大会に集まる志を同じくする仲間とともに、我々が今できることを模索し実践すること、情報を共有し社会に求められる建築士の輪を全国各地へ広めていくことを目的とし、その語らいの場として開催してきた全国建築士フォーラム。本フォーラムは今年で7回目となり、近年開催してきた地域実践活動報告発表会が大会当日に変更となったため、平成 26 年度全国青年委員長会議にて設定頂いた目標に関する成果報告と共に、近年のブロック青年建築士協議会としての取組みを7ブロックから発表（ブロック紹介を含む）頂き、全国の青年建築士が他ブロックの取組みを共有する場を設けました。

後半においては、平成 28 年 4 月に発生しました熊本地震を受け、震災対応経験者を交えて近年の大地震の震災対応や建築士（会）の取組みを参加者と共に議論する場を設けました。

◇北海道ブロック

【子ども達に建築の魅力を伝え次世代へ「ツナげる」】

◇東北ブロック

【東北ブロック大会の強化】

◇関東甲信越ブロック

【一級建築士設計製図試験の「課題施設見学会」】

◇東海北陸ブロック

【建築士の知識を発表できるイベント開催】

◇近畿ブロック

【「近畿青年建築士サミット」開催】

◇中四国ブロック

【木造住宅耐震化工事誘発モデル事業に向けての取り組み】

◇九州ブロック

【パッションからつながる kizna in 鹿児島

に新規会員 or イベント初参加者を 30 名以上募る！】

全国7ブロックからの成果報告においては、各ブロックならではの取組をされており、各単会委員長が掲げた目標遂行に真摯に向き合われていました。

発表後は、震災を経験された青年建築士が登壇し、連合会青年委員長コーディネートの基、パネルディスカッションを開催。その後、7テーブルに分かれ、『災害時、私たち建築士にできること』について、今後の生活に生かして行けるよう、また、災害時に適切に対応するためには事前の準備やシミュレーションが大切になってくると考え、テーブルディスカッションを開催しました。

いつ起こりうるかわからない災害に対する備えとして、本日のディスカッションが今後役立つことを願います。

